

社会経済委員会・総務文教委員会合同視察

5月16日、社会経済委員会・総務文教委員会では、合同して議員全員13名で北海道電力砂川発電所（表紙写真）と砂川流雪溝（右）の施設を視察しました。

北海道電力砂川発電所は令和9年3月末で廃止が予定されていますが、流雪溝は発電所の温排水を活用していることから、発電所廃止以降の流雪溝の存続は市政の重要な課題です。



飲酒運転撲滅集会

6月6日に開催されたこの集会は、平成27年6月6日に砂川市で発生した飲酒運転による悲惨な事故を忘れないため、毎年開催されています。砂川市では、この事故を契機に「飲酒運転をしない、させない、許さない」という強い自覚を持ち、すべての人が一体となって飲酒運転の撲滅に取り組むため、市議会において議員提案により飲酒運転撲滅条例を制定しています。この条例では、6月6日を「飲酒運転撲滅の日」と定め、飲酒運転の撲滅に関する活動を促進しています。



～傍聴者の方から寄せられた声～



3月5日、6日に5名の議員さんの一般質問を拝聴させていただきました。議員さんのご意見は、砂川市民が日々感じている事だと思えます。市民と接し、市内を歩き、議員さん一人一人の目で見えたこと、感じたことを調査し、本日の質問に至ったものと推測します。市民と話さなければ生活の様子が見えませんが、市内を歩かなければ細かい事に気付きません。

日頃のそのようなご努力があってこそのご発言だったと思えます。市民のための議員さんです。どうぞ、市民の生活をより良くするために今後も課題の解決にご尽力ください。情熱と勇気を期待しております。私自身、大変勉強になりました。とても楽しい時間でした。有難うございます。質問に入る前の「市政執行方針」「教育行政執行方針」も市長と担当の皆様にご敬意を表します。分かりやすさに加えまして専門的お立場でのご説明はさすがでございました。やはり、市民のために砂川市の繁栄のためにより一層の手腕を発揮されますことを切に願っております。2日間、お疲れ様でございました。そして有難うございました。

（傍聴者より）

ご意見・ご感想をお待ちしています。

あ と が き

議会における広報の役割は、単なる情報発信だけではなく、受け手である市民との双方向のコミュニケーションの役割も重要だと考えています。

この議会だよりでは議会の活動をわかりやすくお伝えしていくと同時に市民の声を集める役割も果たしていきたいです。今号では、傍聴者のご意見を掲載しましたが、これからも市民の声を取り上げて誌面の充実を図っていきます。

今後も市民の皆様のご意見等ございましたらお寄せいただきたいと思います。

（武田）

議会広報編集委員会

委員長 武田 真 副委員長 鈴木 伸之 委員 伊藤 俊喜 委員 高田 浩子